

新年のご挨拶

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、格別のご愛顧、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

未曾有の災害に見舞われた東日本大震災からの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年は山中伸弥先生がノーベル医学・生理学賞を受賞されるという快挙を成し遂げられました。心よりご祝意申し上げます。弊社でも技術イノベーションを推進し、検査の分野で精進してまいります。

弊社は、『ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります』を経営理念に掲げ、臨床検査、食品・環境検査事業でグローバル化を目指し活動しています。昨年2月には、野木事業所（栃木県野木町）にオペレーションマネジメントセンターを竣工し、生産拠点を集約しました。これにより研究開発から製造までを効率的に運用できる体制を整えることができましたので、さらに品質の向上をはかり、より良い製品をお届けしたいと考えております。

昨年は、8月に臨床検査分野では世界初の生物発光酵素免疫測定法（BLEIA法）を原理とした「全自動生物化学発光免疫測定装置 BLEIA[®]-1200」およびノロウイルス検査用試薬「BL-NV‘栄研’」を発売いたしました。今後は、より高感度な測定が求められる肝炎ウイルス検査など感染症検査試薬の開発を進めてまいります。昨年秋からノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が全国的に流行していますが、ノロウイルスの検査用にイムノクロマト法を原理としたPOCTの体外診断用医薬品として「イムノキャッチ[®]-ノロ」を11月に発売いたしました。食品従事者などを対象とした検査の「BL-NV‘栄研’」や、既発売のノロウイルスLAMP法試薬とともに衛生管理・感染管理に貢献できるものと考えています。

また、弊社は「ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーン」に賛同し活動支援をしております。昨年も「LOVE & BRAVE 京都ウォーク 2012」や「Tokyo 健康ウォーク 2012」等の各種イベントに協賛し、大腸がん検診の受診促進、早期発見を広く呼び掛けてまいりました。今後も継続して大腸がん検診の啓発に努めてまいります。

弊社が後援しています公益財団法人黒住医学研究振興財団では、「第48回小島三郎記念文化賞」ならびに、「第20回研究助成金」の贈呈式と併せて、「小島三郎先生没後50年・財団創立20周年記念式典」を10月に執り行いました。読者ならびに関係者の皆様には平素より財団の活動にご理解、ご支援をいただき、おかげをもちまして滞りなく記念式典を終えることができました。深く感謝申し上げます。本年も同財団と共に国民の健康と福祉の向上に寄与してまいります。

例年、本誌のスタートを飾ります“新春放談”では、「新型インフルエンザ対策」と題し、昨年公布された新型インフルエンザ等対策特別措置法を中心に、インフルエンザの過去の流行から現在の対策まで幅広くご討論いただきましたので、読者の皆様のご参考にしていただければ幸いです。

本年も皆様一人一人にご満足いただける誌面作りに努力を重ねてまいりたいと存じます。変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成25年元旦



栄研化学株式会社
代表執行役社長
寺本 哲也